

校長だより

先日の学年集会で、生徒会から今年の漢字について紹介がありました。真っ白な大きな模造紙に、黒い墨を使い大きな筆で立派な字を書িয়েくれました。その漢字は、「色」でした。よく今年の漢字はと言われますが、多くの場合、その年を表す特徴的な漢字の話が多いです。しかし、加賀田中学校では、目標という意味も込めてか、この先一年を表す漢字が選ばれています。さて、その「色」という漢字は、いったいどういう意味があるのだろうか？私なりに考えてみました。人にはそれぞれ個性があります。足の速い人。歌のうまい人。絵が上手な人。科学の知識のある人、サッカーがうまい人、おしゃべりな人、涙もろい人、笑いだすと止まらない人、読書の好きな人、様々な個性があります。その一人ひとりの個性が、「色」であり、今年はそれぞれがその個性を伸ばそうということかなと思います。と同時に、ほかの人の個性も認め、尊重しようという意味かなと思っています。お互いがお互いの「色」を尊重した学校の中では、きっと素晴らしく多彩な「色の花」が咲き乱れると思います。

漢字にはその文字一つや熟語で固有の意味があることが多く、その文字の持つイメージにより、さらにさまざまなことがらが連想されます。

例えば、「太陽」という言葉からみなさんは何を連想しますか？私は、熱、力、光、強さ、元気よさ、(性格の)明るさ、中心、などを想像しました。だから「あの人は太陽のような人だ」ということを聞くと、「明るくてみんなから慕われている人」を、私は想像します。また、「みんなに元気を与える人」のイメージも併せてあります。

「月」からは、穏やかさ、やさしさ、ゆったりとした雰囲気、夜に照らされる希望、太陽を映す鏡、などを想像しました。アラブの国には赤十字社はありません。十字という言葉から「戦争」や「侵略」を連想するからだそうです。かわりに、赤新月社という、「月」をイメージした名前の同じ役割の組織があります。日本ではかぐや姫やウサギのお餅つきのようなお話のイメージが浮かぶ人もいることでしょう。つまり、洋の東西や宗教や文化の違いによって、イメージも変わってくるのかもしれない。

「海」からは何をイメージするのでしょうか？私は、命、生き物、波の音、激しい嵐、サンゴ礁や魚、潮の香、などもイメージしました。「海」に関するイメージとしては、命の大元というイメージとともに、時には津波や嵐のように命を奪う凶暴なイメージもあります。先日も津波により尊い命が奪われました。ご冥福をお祈りします。どんなに科学が進歩しても、自然を恐れ敬う気持ちは大切にしないとけないと感じました。

生徒会の人を中心に、一年をかけて、どのような加賀田中学校の「色」を生み出してくれるか、今からとても楽しみです。是非とも頑張ってください。